

令和7年度 まちの予算

令和7年度予算の概要をお知らせします

これまで、財政収支の改善に取り組んできた成果として、令和5年度決算では**3年連続で一般会計の実質単年度収支が黒字**となりました。

新年度予算は、人口減や経済の活性化策を切れ目なく推進するために必要な予算を計上しています。

施策を計画的に展開し、
「笑顔と活気あふれる持続可能なまちづくり」を着実に推進します。

各会計の予算額

会 計 名		令和7年度	令和6年度(当初)	比 較	増減率
一 般 会 計		46億8,700万円	55億9,500万円	△9億800万円	△16.2%
特 別 会 計		8億3,560万円	8億5,280万円	△1,720万円	△2.0%
内 訳	国民健康保険	3億8,730万円	4億120万円	△1,390万円	△3.5%
	後期高齢者医療	6,060万円	6,160万円	△100万円	△1.6%
	介護保険	3億8,770万円	3億9,000万円	△230万円	△0.6%
公営企業会計		8億146万円	7億9,890万円	256万円	0.3%
内 訳	簡易水道事業	3億4,023万円	3億8,829万円	△4,806万円	△12.4%
	集落排水事業	4億6,123万円	4億1,061万円	5,062万円	12.3%
合 計		63億2,406万円	72億4,670万円	△9億2,264万円	△12.7%

全会計総額は**63億2,406万円**で、前年度と比べると9億2,264万円減少しています。主な減少要因は、一般会計における**壮瞥中学校建替工事**や**新中間処理施設建設に係る西いぶり広域連合への負担金の減**などです。

新年度においても、計画的に推進してきた**総合的な定住施策の継続**に加え、**子育て支援の拡充**など、**まちの将来に必要な投資を積極的に進めます。**

一般会計歳入（図－1）

町税は、固定資産税の減免を見込み、2,961万円減の4億1,415万円を計上。

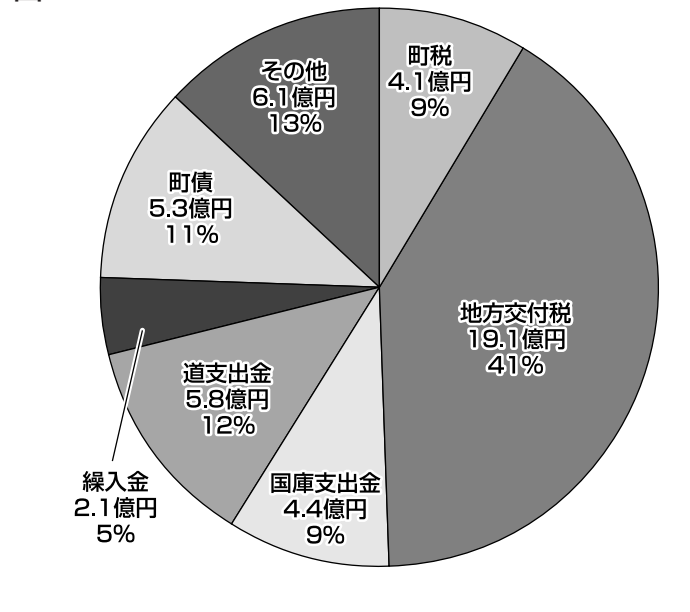
地方交付税は、近年の実績や国の動向を踏まえ、8,000万円増の19億1,000万円としています。

国庫支出金は、公立学校施設整備費負担金の減少などにより、1億7,738万円減の4億3,874万円となりました。

町の基金（貯金）からの取り崩しである繰入金は、4,333万円減の2億1,218万円で、財政調整基金の取り崩しは400万円減の1億8,600万円となりました。

町債は、壮瞥中学校建替事業の減少などにより、8億9,300万円減の5億2,900万円の借入を予定しています。

図－1



一般会計歳出（図－2）

右図は、性質別に歳出を分類したものです。

人件費は、ベースアップ等により前年度から1,647万円増の9億2,838万円としています。

普通建設事業費は、大型事業の竣工に伴い、前年度から10億7,304万円減の10億209万円としています。

公債費は、借り入れた町債の返済で、258万円増の3億6,878万円としています。

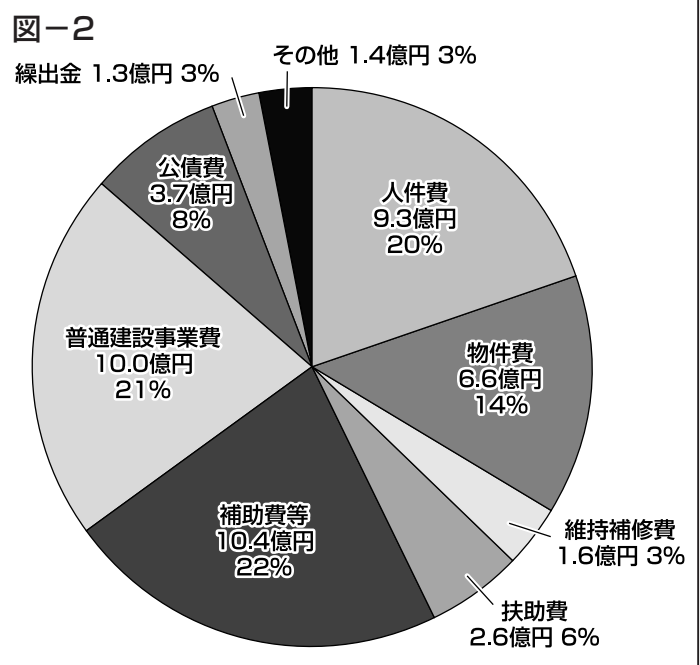
返済額は元金の減と利子の増により、横ばいとなっています。

町債（まちの借金）残高の推移

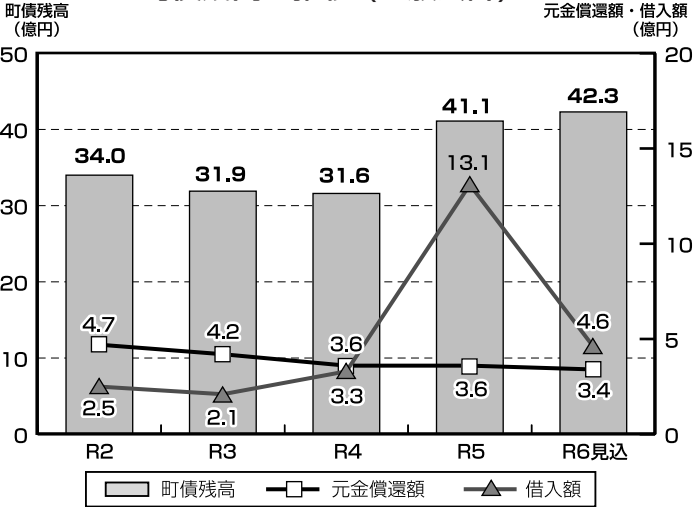
町債残高は、新中間処理施設建設事業などの大型事業の実施とともに、町道整備事業の増などにより、令和6年度決算では増加する見込みです。

令和7年度も壮瞥中学校建替事業の借りにに加え、そうべつ情報館機能拡充事業や公営住宅の整備に向けた設計委託業務などの実施による借入を予定しており、町債残高が増加する見込みです。

町債の多くは、償還（返済）額の全部または一部が地方交付税として国から補てんされる有利なものを活用しています。



町債残高の推移（一般会計）



基金（まちの貯金）保有高の推移

令和元年度から、歳出予算の精査、既存事業も含めた財源の活用など、収支不均衡の改善に向けて取り組んだ結果、令和5年度決算では基金保有高が**4年連続で増加**しました。

財政改善の成果を踏まえ、まちの将来に必要な投資を積極的に進めていることから令和6年度末保有高は減少する見込みとなっています。

本町が持続的に発展するために必要な施策を計画的に推進できるよう、安定的な財政基盤を確立し、将来を見据えた社会資本整備を推進します。

【お問い合わせ先】 壮瞥町役場企画財政課財政係（☎0142-66-2123）

基金保有高

